

特 34

394

長谷川
龍輯

作文萬通
日用文章
合本
下

大日本教育會館			
二	七	二	東
冊	九	函	
	號		
		四	
		架	

○赴任

邊塞候邊城上日

州上日

後上日

程上日

征途上日

征鞍上日

去路去程上日

脩程水程上日

脩程水程上日



作文
自在 萬通日用文章卷下

長谷川玄龍 著
名和對月書

但子 赴海道

人 所 送 文

今度 有用 文

作文萬通日用文章

卷之下

五十七

自在音正E戸

故國コク上上日日

故園コエン上上日日

鄉天キョウテン上上日日

天涯テンヤ上上日日

離群リクン上上日日

刀頭トウトウ上上日日

桑梓サンシ上上日日

握手ケツシュ上上日日

解携ケウケン上上日日

繫馬ケイバ上上日日

オニ

山海道ウミノミチ所トコロ為ナ程ケ

以ヨリ和ワ塔タ回クハ

傳ツタ承ツケ作シ江エ野ノ

地チ國クニ家カ所トコロ自ミ

事コト所トコロ行ユク在ア度タク小コ

輕菲ケイヒ上上日日

叱置シツチ上上日日

晒留シヤウリウ上上日日

拜受ハイジュ上上日日

織少オリシウ上上日日

些々シヤヤ上上日日

僚友リョウユウ上上日日

知己チキ上上日日

親友シンユウ上上日日

難留ナンリウ上上日日

④ 卷マク

系ケイ事コト所トコロ行ユク在ア度タク小コ

留リウ事コト所トコロ行ユク在ア度タク小コ

御ミ表ヒラカ程ケ儀ケ小コ遠トウ地チ

隨ズイ命メイ飛ヒ鳥トウ所トコロ行ユク在ア度タク小コ

作文

五十八

自在 薄遠 巨用 文章

非少 上日 少分 上日

薄少 上日 荒儀 上日

寸枕 上日 芥儀 上日

献芥 上日 琐少 上日

薄饌 上日 微餉 上日

輕饋 上日 重大 上日

至重 上日 芳名 上日

大名 上日 令名 上日

音問 上日 通信 上日

消息 上日 信書 上日

鴻便 上日 鴻鯉 上日

郵筒 上日 風俗 上日

習俗 上日 時俗 上日

珍重 上日 自重 上日

自愛 上日 攝養 上日

自玉 上日 保重 上日

持重 上日 大切 上日

強食 上日 節勞 上日

霜 上日 加餐 上日

卷之十

今般去友 似如 月

予首 為 德 行 之 意

而 日 上 途 之 儀 決

在 考 大 經 賜 厚 鈔

上 禮 之 至 在 相 謝

坡地 相 應 之 出 用

在 度 之 乃 西 志 似 友

且 且 當 守 中 法

般 所 依 於 中 之 度

壽 心 之 的 中 之 推

作文 高 通 明 人 卷

卷之十

五十九

節調 セツテウ ヲロツケテ、ホド

冀自玉以膺天眷 キヨクニシテ、タカラカミノタマニシテ、ソノチニシテ、ソノチニシテ

○囑購 シヨクカフ 謝大 シヤウダイ

即今 シヨクイマ 如今 シヨクイマ 上日

古来 コライ 近來 キンライ 上日

須臾 シユウ 少時 シヤウジ 上日

少間 シヤウカン 上日

早晚 サウバン 上日

附託 フツタク 上日

雅囑 ガク 上日

指揮 シキ 上日

指示 シジ 上日

委細 ウイサイ 上日

委詳 ウイシヤウ 上日

詳細 シヤウサイ 上日

領承 リョウシヤウ 上日

許諾 キョダク 上日

會得 クワイトク 上日

多相話 タシヤウワ 下作 ゲサク 相 シヤウ

囑購 シヨクカフ 諸注文之事 シヨクカフノコト 云云 クニクニ



諸注文之事云云

四 羅紗 ラシャ 注文 注文 文 文

金所 カネ 望 望 膝 膝 上 上 唇 唇 下 下 唇 唇 下 下

傳 傳 命 命 了 了 聲 聲 聲 聲 聲 聲 聲 聲

交 交 友 友 友 友 友 友 友 友 友 友 友 友

弘 弘 隆 隆 隆 隆 隆 隆 隆 隆 隆 隆 隆 隆

又 又 隆 隆 隆 隆 隆 隆 隆 隆 隆 隆 隆 隆

知得チトク氷解ヒヤク

氷釋ヒヤク上日ウツシ謹諾キンダク

敬諾ケイダク上日ウツシ敬兼ケイケン

隨命ズイメイ上日ウツシ應命オウメイ

從教ジュウキョウ上日ウツシ任命ニョウメイ

漸次シヤンジ上日ウツシ稍々シヤウシヤウ

逐次ジツジ上日ウツシ漸々シヤンシヤン

陸續リツジツ上日ウツシ輸送ユウソウ

運輸ユンブ上日ウツシ送致ソウシ

送達ソウダツ上日ウツシ百事ヒヤクジ

等法也トウホウダ一イチ等度トウド

此後ココノチ所トコロ依ヨリ新ニヤウ法ホウ

代タイ重ジュウ備ビ新ニヤウ法ホウ

會社カイシャ一イチ單中タンチュウ一イチ等トウ

此後ココノチ所トコロ依ヨリ新ニヤウ法ホウ

草クサ一イチ等トウ

④ 物權モノケン之ノ文モン

先マテ百ヒャク物モノ權ケン之ノ文モン

至マデ急キウ入イリ用ヨウ之ノ付ツキ回クワ後ゴ

年ネン一イチ所トコロ由ヨリ由ヨリ法ホウ

百端ヒャクタン上日ウツシ百般ヒャクパン上日ウツシ

千緒センシュ上日ウツシ縷々ルル上日ウツシ

件々ケンケン上日ウツシ條々テウテウ上日ウツシ

一條イツテウ上日ウツシ每事マイジ上日ウツシ

每回マイクワ上日ウツシ每度マイド上日ウツシ

期會キクワイ上日ウツシ際會サイクワイ上日ウツシ

機會キクワイ上日ウツシ折柄セツカ上日ウツシ

時期ジキ上日ウツシ期節キセツ上日ウツシ

遺脫ユイダツ上日ウツシ遺失ユイシツ上日ウツシ

脫落ダツラク上日ウツシ漏脫ロウダツ上日ウツシ

遺漏 モラス 趣意 オモ

旨趣 上日 趣向 上日

旨意 カラ 本旨 モト

所謂 コト 事情 コト

事態 スガ 事實 コト

由縁 バラ 原因 コト

所為 サ 所作 サ

適宜 オホ 適當 オホ

的當 上日 適度 上日

適切 上日 考按 上日

熟考 カガ 熟慮 上日

大概 オホ 大畧 上日

大約 オホ 概略 上日

洞見 ホス 洞察 上日

目途 ミヨ 目的 上日

著眼 ツマ 失錯 上日

失策 シヤ 簡易 上日

簡約 カマ 簡便 上日

輕便 テガ 便宜 上日

便利 リ 上日 宿志 上日

下度の注意多中

先きの要も少中

所依の形中

代償の要も代中

物と引換の注意

平山

五年

玉素の神の御名

般出の文の品大

出来の仕方の好

廉直	安直	閑劇	猶豫	自今	以往	將來	規範	進與	志願
廉直	安直	閑劇	猶豫	自今	以往	將來	規範	進與	志願
廉直	安直	閑劇	猶豫	自今	以往	將來	規範	進與	志願
廉直	安直	閑劇	猶豫	自今	以往	將來	規範	進與	志願

中... 金... 別... 山... 依...

貴報	返報
貴報	返報
貴報	返報
貴報	返報

背約 諸断

○散步

和氣	春光	輕風	惠風	東風	微風
和氣	春光	輕風	惠風	東風	微風
和氣	春光	輕風	惠風	東風	微風
和氣	春光	輕風	惠風	東風	微風

貴報... 諸断之事云云

背約 諸断

五... 時... 遊...

杖... 杖...

西京... 山... 梅...

自作詩通日用文章

膏雨上日花雨上日

春暖多深花好

催花上日暖日

遲日上日鶯花

朝霞好晚霞

流霞多殘霞

霞際淡抹

花柳花鳥

草芽多萌動

春郊分平原

卷之六下

海軍のり

命を基に

鳥の上

秋の遠

...

野色野趣上日

野逕野燒

野畦孤村

遠村江村

菜畦蔬畦上日

探奇探勝上日

追勝上日佳景

勝景上日風景上日

風物上行樂

行吟多閑行

作文萬葉月文章

...

...

...

...

...

徐行上野歩カウノヤホ

緩歩クワンボ

吟歩キンボ

試歩シホ

倚杖ヨリウゼ

乘晴シヤク

覓翠ミクヱ

踏青フミキナ

爽心スワココロ

新鶯シンアヲ

正任山輕音

五 塙寺

本白山風山之探勝

正任山輕音

正任山輕音

黃鸝ワウリ

鶯語アヲゴ

鶯歌アヲカ

春草シユンサウ

芳草ハウサウ

塘草チヤウサウ

嫩草ニンサウ

綠草リョクサウ

摘青チキキョウ

散步サンボ

致報任山變一因

致報任山變一因

致報任山變一因

致報任山變一因

百好

漫遊上 漫歩上

遊歩上 和煦多

清池 碧池

緑池上 古池

園池 碧潭

池頭 池邊

池上 池面

池塘 種藕

論文 文藻

文詞上 文墨上

五三 筆居不集新

之

原所 藝約中

夕夕中集 使鄙

生好 音宿

比 詩 懺 罪 屠 仕

比 法 彦 子 軍 了

比 師 傳 考 了 中 集 新

破 誓 罪 謝 了

可 存 惟 所

文人 詞章

詞賦上 詞客

詞場 詩興

詩料 詩友

詩伴上 詩成

詩家 詩人

裁詩 賦詩

吟詩 題詩

燕詩 野詩

野調 巴調

呈稿求政 シカガキヲア
フコヲ

不耻拙工 ヘタラハジカシ
トモオモハス

野逕煙村 トホキ
ムラ

江村水村 ホトリ
ムラ

隴畝田畝 ホ
ムラ

花村菜花 ハナ
ムラ

苦吟吟思 シガス
シケン

才子高才 カサ
サイ

腹稿勝賞 ハコ
シヨウ

清賞幽賞 シヨウ
シヨウ

賸紫車 マサキ
ウラハ

⑤ 後身 ウシ
ミ

昨日市常 ケノ
チ

古彩扇 コサイ
セン

印信 イン
シヨウ

去後 キョ
ゴ

疎 ソ
ス

印 イン
シ

印 イン
シ

去 キ
コ

一醉 イツ
スイ

微醉 ビ
スイ

醉中 スイ
チュウ

醉後 スイ
ゴ

酡顏 ト
ガン

碧筒盃 ヒキ
ツウ

葉飯 エフ
ハン

句 ク
ク

詞極 ジ
キョク

不耻 ズ
チ

自在

報謝

○饗應

羨酒 昔酒

醇醪 濁醪

村醪 家醪

酒危 玉杯

啣杯 忘憂

杜康 竹葉

禍泉 狂樂

孽水 盤歡

報謝

諸禮狀之事ヲ云フ

馳走五下なる

方人遺まは又

才緒お量吐鳥

才恩招く形里巻

歡情 狂飲

劇飲 上醉

爛醉 醉態

醉歌 醉舞

醉卧 醉倒

乘醉 盡醉

酩酊 潦倒

畏縮 悚惕

赧顏 汗顏

噬臍 頌獻

宴モリ之陪じの不覺ふあは

刻飲げき酩酊めい可か乱席らん

之程この百義ひやく出で海客かい

下した下した字じ小こ魚う一いっ籃ばん

厨下ちゅう之の單だん下した下した

作文

タイドコロニ

サニアゲル

領賜上日 領賜上日

領呈上日 分惠

昨日醉中口占

遂不知別

時作何狀

海容是

伏其海

涵上其胸次浩然

土木形體邀

遊一世

味味多々本

懷之至如宿

醒未醒象帝方

怒

回煖

不伐其能飲其德

肴核四陳

備盡珍羞

殺雞為黍

雞黍之設

饌賓客滿

聖投轄之

夕相對盡

歡酒酣

酒酣

以口舌之毒為能

厚乎人之光

去濁酒材者

勃之是

憤之

談劇 サケガナカハニナリテ
ハナシモ、イリクム

深語竟日 オホクシキヒト、ホリナラ
ヌシタキキバチ

秉燭夜遊 トツテシタラヨルアタ
トモ

盃盤狼藉 ハシロラセキ
サカ

坐臥笑談 ザワザワシヤクダシヤク
チリミタ

意所適 イノトヨカチ
ネルモオキルモワラ

樂而忘歸 オモフマ、タシシテ
ワスルカハラオ

胸中無宿 シロサニカハル
ヲワスル、

殷勤甚 コロガサツ、
シテキル

謹言 ネンゴナル
ユキトツク

代守 ウケトケル

解鱗 セン
ヒトカゴ

忻味 キン
ヨロコビオソレ

扣 ヒツ
オレイマウス

や ヤ

百 ヒツ

再拌 サハ
トシユ

委細面述 イ
クシキコトハ

萬緒面謝 マン
シヤ

萬縷面布 マン
メソ

拜韻萬緒 ハイ
オメカクテ

臨緘翹注 リン
チカミテコ、
ロサンヲ

臨楮叩注 リン
チヤ

不日拜容 フ
トホカラヌ

其内走訊 ソノ
ソノウチデ

後刻執謁 ゴ
ノチカタ

以尺書得尊慮 モツテヤキ
ソノリヨ
テガミヲモツテ
オタツネモウス

○寸楮晋呈上 スン
シヤ
テイ

○鄙書捧呈上 ヒ
シヤ
テイ

○預寵 ア
カクテ

○招 セウ
オマネキニ

○陪佳宴 ハイ
サケノバンシヨ

○列好席 レツ
コウセキニ

○飲美酒食美肴 イン
シヤク
カワ
ヨキサケヲノミ
ヨキサカナヲクフ

○不知狼藉 シラ
ラウゼキヤ
ヨイ

○海涵是祈 カイ
カン
コレ
イハル

自在漢通日月文章

○羈旅 タビ

客愁 カクシウ 客心 カクシン

客夢 カクム 鄉思 キョウシ

旅恨 リョウコン 寒夜 カンヤ

征衣 セイイ 孤客 コカク

意厚禮勤 イコウレイチン

感荷不淺 カンカフスツカシ

意外之榮寵 イガイノエイチュウ

喜懼交至 キククウカウシ

感佩不啻 カンペイフタナシ

卷之一

⑤ 松中 查活

東一人の道

王父

不事君上教

近今お師不事君上

跋踏無地 バダツムチ

無所逃罪 ムソトウサイ

榮幸溢身 エイコウイッシン

盡山海之美 ツクスサンカイノビチ

吐露丹誠 トロスタンジツ

竭盡素 ケツジンソ

抱 カネテノコロヲ 妨尊 サマシク

暇 オヒマラスシ 意氣投 イキトウ

合 オホキニシツスギ 大失儀度 ダイシツギド

多罪無 オホキニシツスギ

作文萬通月夜集

近今お師不事君上

満在申す万端

近今お師不事君上

友妻之程之海

近今お師不事君上

卷之一

七十一

自在 萬壽日月文章

由贖 ツミノマラシ 伏

析矜宥 ドクダオユル

幸賜饒恕 同上

塵務蝟集 セシオホク

俗冗難撥 同上

俗務所絆 同上

賤冗牽纏 同上

裘褐五更 五年ノアヒ

一別三秋之思 ヨ

ツトノロカレガ、ナガクオモワルト云フ 延滯

卷之十

孔道通厚礼年

之變悟多 魚肥

之私之所 音音赤

之月出海 海赤

之輕激 至是

世天至寺 善慶一

春香里 住山 卯 矣

味 多 度 山 為 所

坂 命 貴

光 年 年 結 山 光

過期 ナガドカリウニテカ

厥後 ゴノ 其後 上日

疎遠 トホシ 疎濶 上日

尋問 タス 訊問 上日

諮詢 上日 歸期 カヒ

他郷 タ 貴契 キケイ

賢契 上日 仙府 センポ

貴府 上日 貴縣 上日

貴郡 上日 仙郷 上日

仙里 上日 錦里 上日

作文 萬壽日月文章

卷之十

七十二

自在 讀 目 解 義

以繼志為大 モツキテシテオホキナリ

竟天 ツクニヨスニ

年 ツクニワカシニ

○戰死 タカヒ

征戰 セウケン

血戰 ケツケン

爭戰 ソウケン

戰場 センヤウ

決戰 ケツケン

戰罷 ケンバイ

卷之十

薰讀 クワン トライノチカミ ○野生不幸係家父之凶變

○終就世 ツクニシヨク ○種々蒙惠投 ツクニツクニ

卒 戰死 一人 イクサ デシスル

の親を弟ふは又 オヤ

今般西南と暴 コンド

勅征討を令 ボウ

轉闘 テントウ

成卒 セイソク

精兵 セイヘイ

驅逐 クシュツ

輔虜 ホロ

獻捷 ケンセツ

勝敗 シヨウバイ

攻城 コウコウ

圍城 ヰコウ

威風 キフウ

七十六

即衆抽て衆奮 ソク

戦殺獲甚衆 セシ

道に戦没 ミチ

傳ふに堪る デン

正然歎 カチシミナク

自在萬通日用文章

威嚴キキ 嚴肅ゲンソウ

貌貅士ヒキウシ 士力シキ

軍イクサノ 汗馬勞アセウマノ

食君之食シキノシキ

避君之難サキキノナニ 非忠ヒチウ

臣也シニナリ 一死報國イツシハククニ

一死報國イツシハククニ

馬赴敵軍而死ウマニキリテツクニシテ

乃作絕命詞自ナニシテツクニシテ

分必死ブンニシテ 忠孝萃千チウカウソウセン

一門焉イツモンニ 伸威千シンキ

號令明肅ガウレイメイソウ

里リ 與士ヨシ

卒分勞苦ソウブンラウク

長驅而前チヤクニシテ

所向無前ソウコウムゼン

作文萬通日用文章

長驅而前チヤクニシテ

所向無前ソウコウムゼン

所向無前ソウコウムゼン

所向無前ソウコウムゼン

所向無前ソウコウムゼン

所向無前ソウコウムゼン

卷之十

以法以身死國ヒホクニシテ 著名シヨウメイ

子載之コノミ 流ナリ 文モノ

去之イキ 面目何如オモトノシヨ

是志コノシ 志コノシ 志コノシ

志コノシ 志コノシ 志コノシ

志コノシ 志コノシ 志コノシ

志コノシ 志コノシ 志コノシ

志コノシ 志コノシ 志コノシ

志コノシ 志コノシ 志コノシ

志コノシ 志コノシ 志コノシ

志コノシ 志コノシ 志コノシ

志コノシ 志コノシ 志コノシ

⑥ 回各

卷之十

七十七

其鋒不可當

腹背擊

衝其中

屍相

因禮

於敵

死生惟命

頭髮上指

目眦盡

且鬪且却

先登陷陣

橫鎗直前

單刀直前

敵軍皆披靡

所向皆靡

當者

無不辟易

表裏合

勢

深溝高壘

作文高麗臣用文章

勢不可當

腹背擊

衝其中

屍相

因禮

於敵

死生惟命

頭髮上指

目眦盡

且鬪且却

先登陷陣

橫鎗直前

風濤漲天

船往如箭

水陸並進

縱火自

救

士氣

百倍

機設變

破竹之勢

類語卷下尾

單騎入敵

聞訃慟哭

流血沾襟

雖輕非之品

敬領盛意

多謝無限

不日面陳

拜芝之時

作文 自在 萬通日用文章卷下尾

○年中御祭日畧解

四方拜 一月一日

元始祭 一月三日

新年宴會 一月五日

孝明春祭 一月三十日

祈年祭班幣 二月四日

作文 萬通日用文章

類語卷下尾

類語卷下尾

類語卷下尾

類語卷下尾

四季時作書文

少事より大事まで

孝重難徳

大事より大事まで

餘重烈愛

大事より大事まで

時長好愛

大事より大事まで

雨水の啟

自在集通目用文章

此ノ日ハ天地ノ神々ニ豊年ヲイフル御祭ナリ

紀元節 二月十一日

此ノ御祭日ハ神武天皇御即位遊ハシタル御日ナリ

春季皇靈祭 三月廿日

神武天皇祭 四月三日

神嘗祭 九月十七日

此ノ御祭リハ主上伊勢太神宮ヲ遙拝アタス日ナリ

秋季皇靈祭 九月廿三日

天長節 十月三日

此ノ御祭ハ今ノ主上ノ御誕生アタシタル日ナリ

新嘗祭 十月廿三日

此日ハ主上當年出来ル新穀ヲ召上ル日ナリ

右ノ日ハイヅレモ國旗ヲ出スベシ諸役所ト

モ休暇ニシテ正シキ

朝廷ノ御儀式ナレバ

謹デ御祭日ヲ祝ス

ベシ

○御始日

政治始 一月四日

作文

卷之十

竹葉未難也

春光未收

暖氣

追々暖氣

暖氣相至

春光

春光未收

春光未收

春光

春光未收

春光未收

春光

時日向暑初

時日向暑初

立夏

時日向暑初

時日向暑初

小満

時日向暑初

時日向暑初

芒種

時日向暑初

時日向暑初

夏至

陸軍始 一月八日

海軍始 一月九日

御歌始 一月十八日

學校始 一月八日

○大禮服著用日

新年朝拜、元始祭

新年宴會、伊勢酒亭

制祭、紀元節

神武天皇例祭

孝明天皇例祭

暑氣漸衰 暑氣漸衰

中夏三秋玉月中

極暑之極 酷暑難堪

三秋之夏 暑氣漸衰

時暑漸衰 秋暑漸衰

夏暑之極 暑氣漸衰

秋暑漸衰 秋暑漸衰

白雲之秋 秋暑漸衰

早涼之秋 秋暑漸衰

秋暑之極 暑氣漸衰

秋暑之極 暑氣漸衰

秋暑之極 暑氣漸衰

秋暑之極 暑氣漸衰

秋暑之極 暑氣漸衰

秋暑之極 暑氣漸衰

秋暑之極 暑氣漸衰

○二四六九十一

○一三五七八十

○一三五七八十

○一三五七八十

○一三五七八十

○一三五七八十

○一三五七八十

自在通印用文章

彼岸ハ 毎年三月十七日
ト有昔廿廿日

八十八夜ハ 毎年五月二日
廿日ナリ

夏至ハ 毎年六月廿日
廿二日ナリ

小暑ハ 毎年七月七日
廿八日ナリ

冬至ハ 毎年十二月廿一日
廿二日ナリ

一年ハ通例三百六十五日

日閏年ハ三百六十六日

ナリ、四時ハ春分ヨリ

夏至ニ至ルハ、春トシ

夏至ヨリ秋分マデハ、

巻之四

何月何日 何年何月何日

小暑ハ 毎年七月七日

何月何日 何年何月何日

大雪ハ 毎年十二月廿一日

何月何日 何年何月何日

冬至ハ 毎年十二月廿一日

何月何日 何年何月何日

何月何日 何年何月何日

封状の畧式

勉強常助様 森林太郎 名目

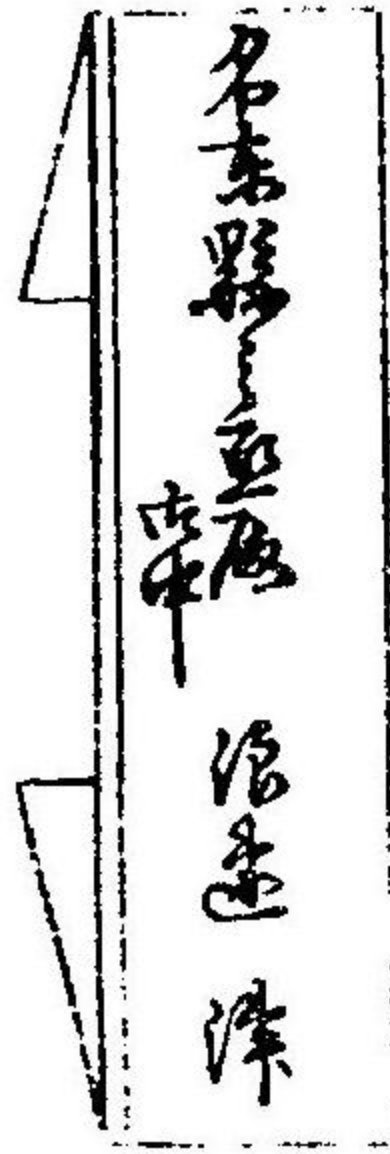
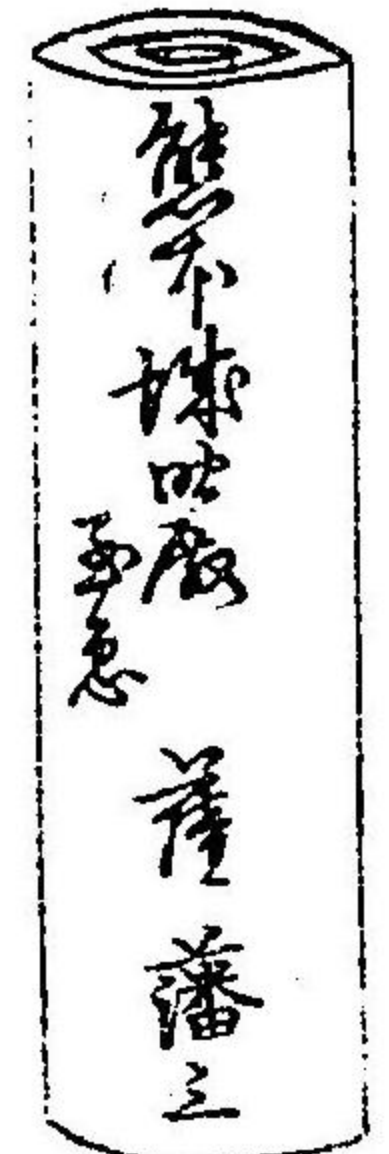
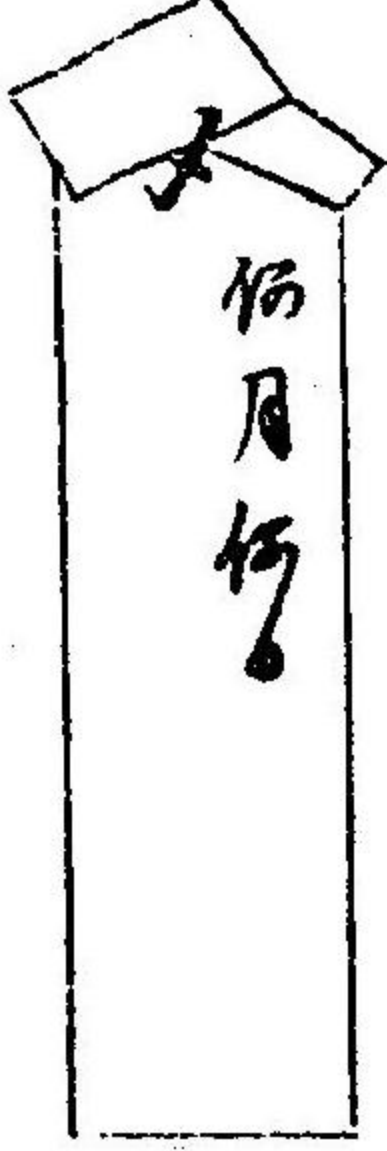
何年何月何日

上申書 實名

何年何月何日

何月何日

何月何日



封の裏に「何月何日」を記す。中書の中へ「何月何日」を記す。

結ぶ状


何月何日

切紙の畧式

脇付 行名 名前

臺下 <small>台ノカ</small> 人閣下 <small>官家ニ用ユ</small>	行臺 <small>カクタイ</small> 旅行 <small>ハツリ</small> 座下 <small>官稱</small>	尊前 <small>ソノマエ</small> 尊長 <small>ソノナカ</small> 座下 <small>平交ニ用ユ</small>	足下 <small>ソノタラシ</small> 侍右 <small>シヤウ</small> 侍上 <small>シヤウ</small>	座右 <small>ソノイソ</small> 侍側 <small>シヤウ</small> 日上	文几 <small>ブンキ</small> 日上 梧右 <small>ゴイフ</small> 日上	梧下 <small>カ</small> 日上 案下 <small>アンカ</small> 日上	文案 <small>ブンアン</small> 日上 文席 <small>ブンセキ</small> 日上	几右 <small>キイ</small> 日上 膝下 <small>シヤカ</small> 父母ニ用ユ	左右 <small>サマ</small> 平等 <small>ヘイトウ</small> 閣下 <small>カクカ</small> 日上
--	---	---	---	---	---	---	---	---	--

状箱上書ノ事
 つゝの如くオト
 加て之申結々の
 事々々々々々々々
 左を以て封
 を以て一葉
 付せん

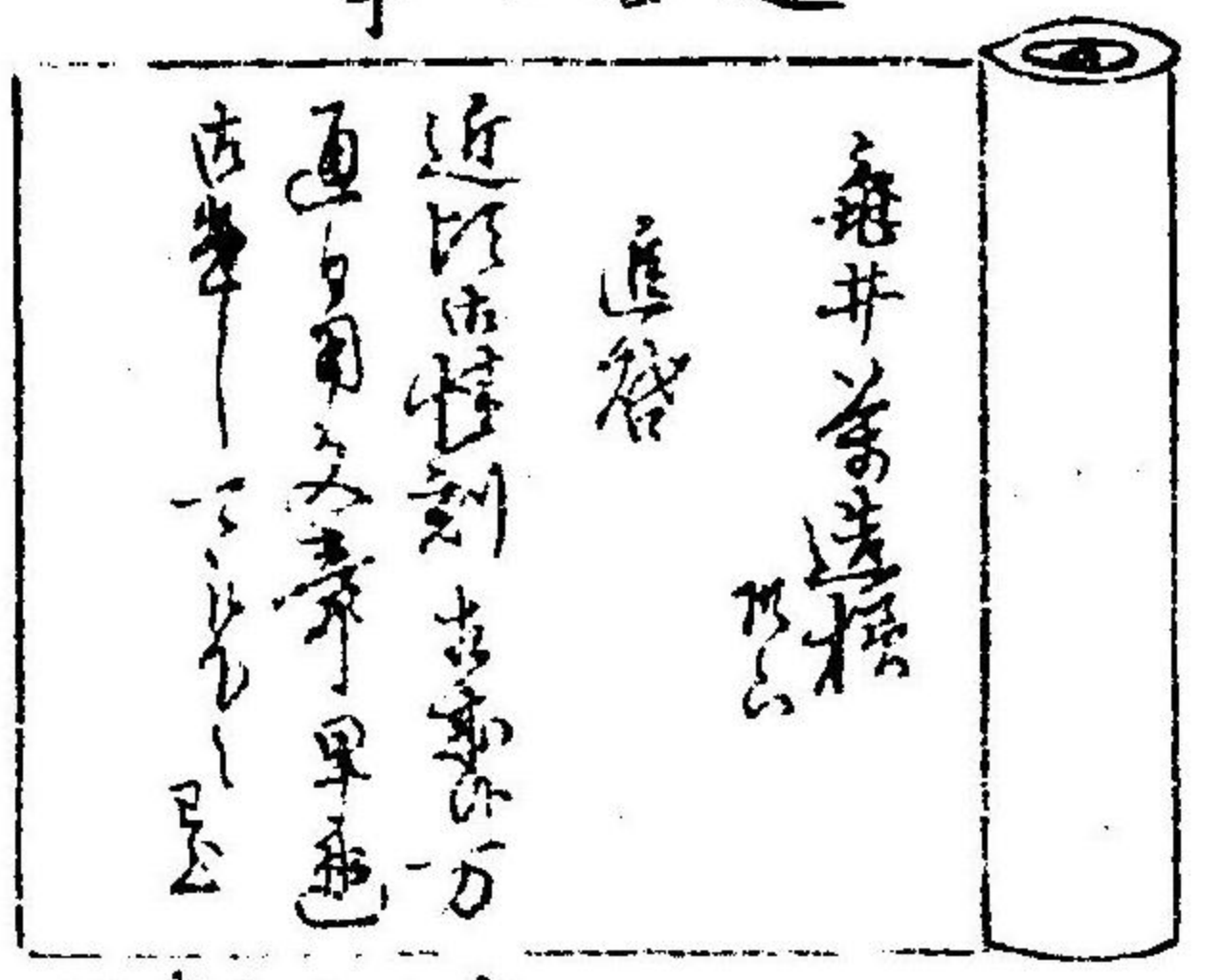


天下素子様
 五教芝
 何日交



事の啓追
 毎井素子様
 近頃由緒刻々
 通リ用之素子様
 法事一々々々々々

袋 状
 何日何日
 毎事素子様
 拙者社



明治十二年三月三日出版御届
 全 五月 刻 成

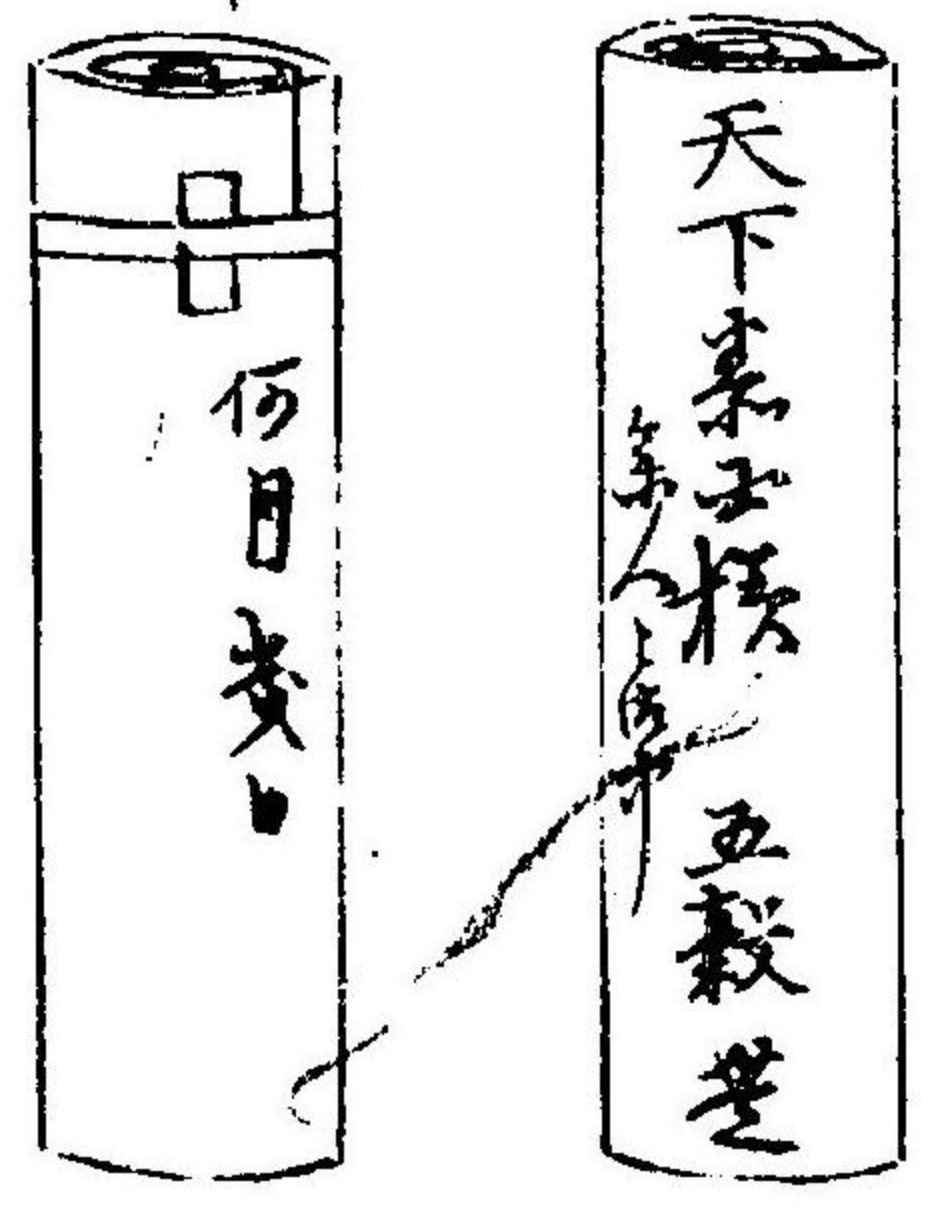
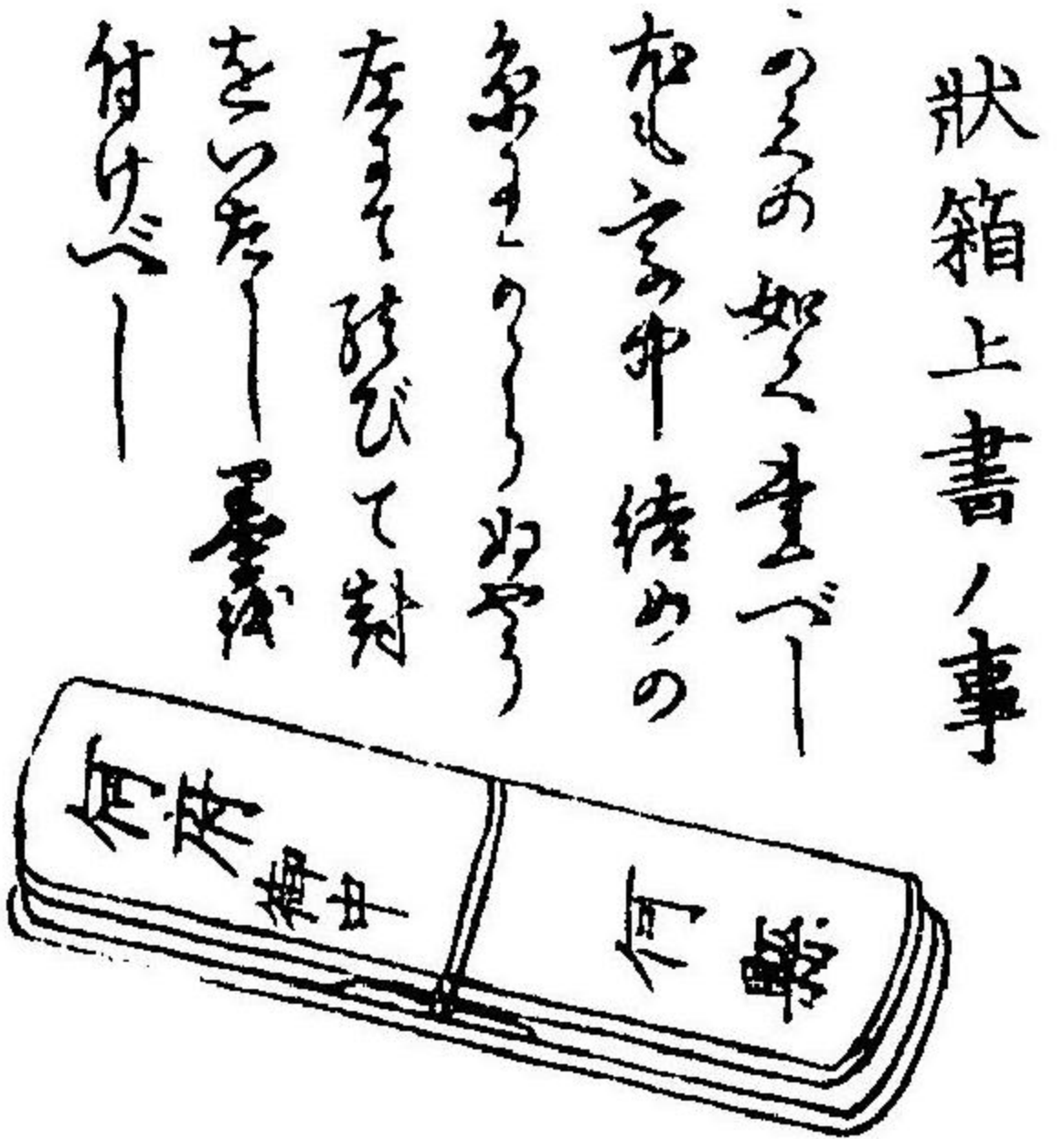
編輯人

大阪府平民
 長谷川玄龍
 大阪府下東区北桃谷町
 七番地住

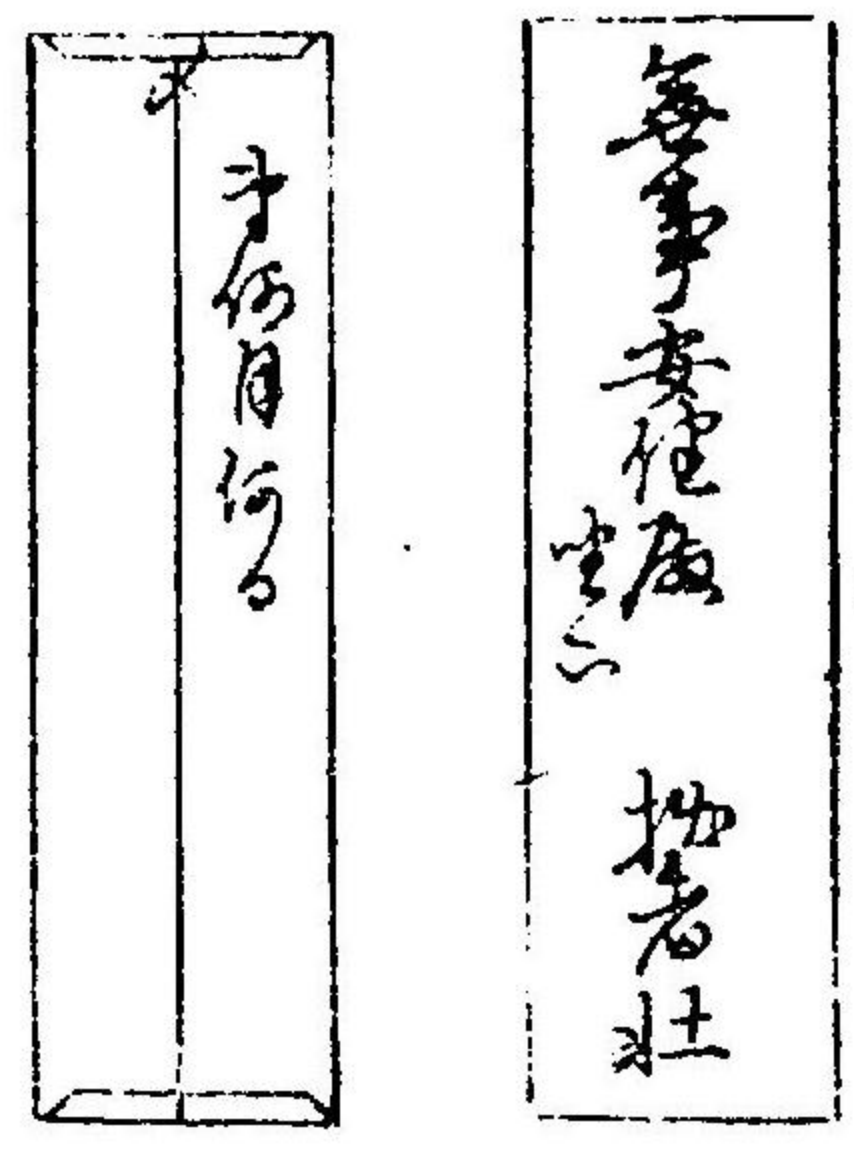
出版人

大阪府平民
 梅原龜七
 大阪府下東区備後町
 四丁目十一番地

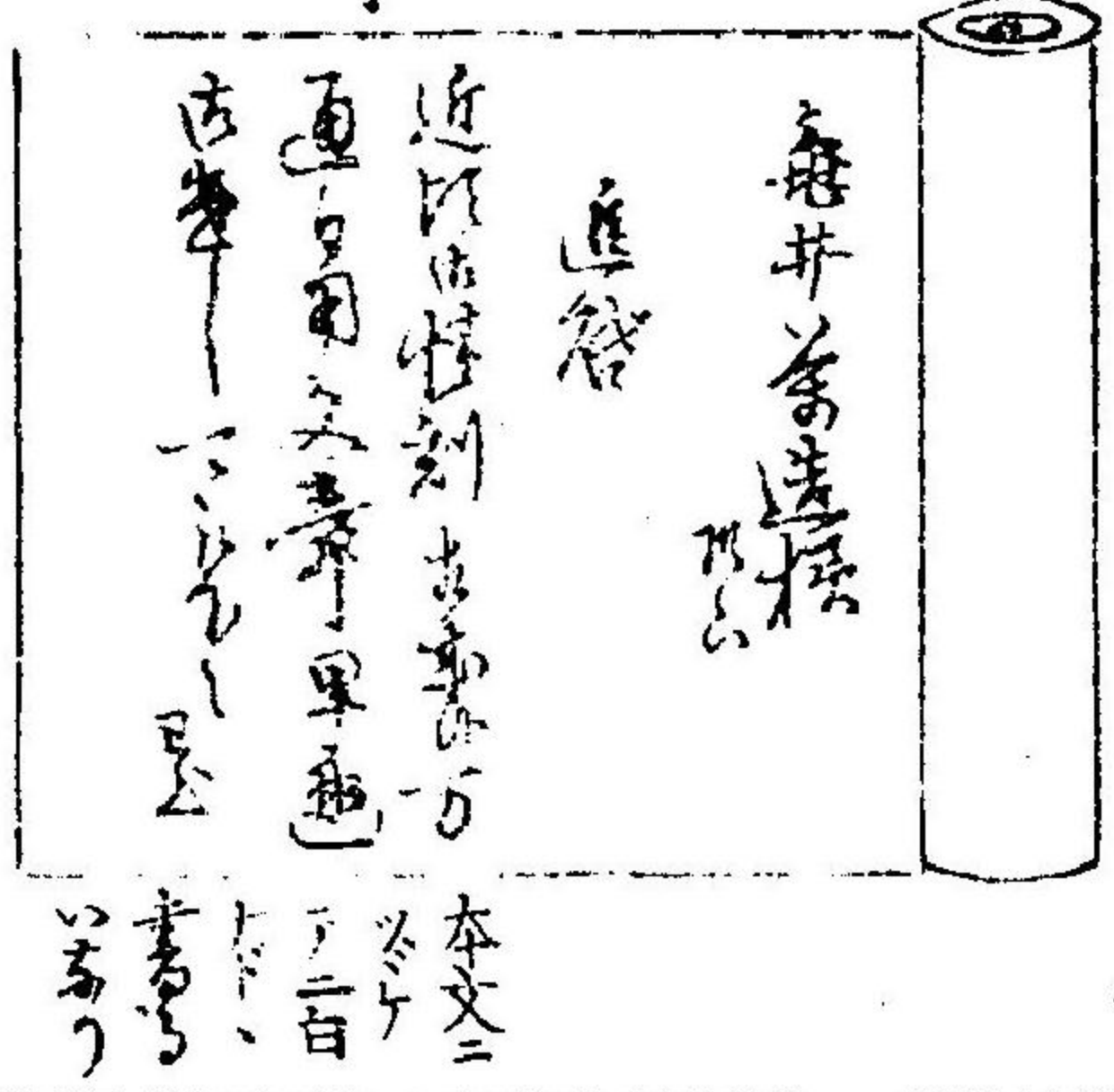
臺下 <small>官家</small>	行臺 <small>旅行人</small>	尊前 <small>尊長</small>	足下 <small>侍右</small>	座右 <small>侍側</small>	文几 <small>梧右</small>	梧下 <small>案下</small>	文案 <small>文席</small>	几右 <small>膝下</small>	左右 <small>閣下</small>
二用	官稱	二用	二用	二用	二用	二用	二用	二用	二用



袋 状



事の啓追



明治十二年三月三日出版御届
全 五月 刻 成

編輯人

大阪府平民
長谷川玄龍
大阪府下東区北桃谷町
七番地住

出版人

大阪府平民
梅原 龜七
大阪府下東区備後町
四丁目十一番地

長谷川玄龍編輯

公私日用文章

浪花 梅原氏菴

公私日用文章

長谷川玄龍 著
名和對月 書

府縣願書類

願書ハ前五罪ヲアケルニシ

一 諸商業出鑑札願書雜形

何業 何形

一 私信此度 何業 何形 何業 何形

郵便規則略

書狀之部

壹封目方二匁迄

同四匁迄

同六匁迄

同府内八匁迄

一錢ヲ増シ國內八匁迄

匁毎二二錢ヲ増ス

新聞紙 一号目方六

匁迄 府内五厘 二号以上

長谷川玄龍編輯

公私日用文章

浪花 梅原氏菴

公私日用文章

長谷川玄龍 著
名和對月 書

府縣願書類

願書ハ前五野ヲアケルシ
ケイイツネ

一 諸商業由鑑札願書雜形

何業 何形

一 私儀此度 何業 何名 何業 何名

郵便稅則略

書狀之部

壹封日方二匁迄

同四匁迄

同六匁迄

同八匁迄

一錢ヲ増シ國內ハ二

匁毎ニ二錢ヲ増ス

新聞紙一号目方六

匁迄

一束十六文迄 府内一錢 國內二錢

同三十文迄 日四錢

以上ノ割目以テ目方十六文
マテ毎二文ゾ増ス

○書籍並ニ見本

目方八文迄 同十六

文迄 以上ノ割目合ニテ
目方八文迄トニテ

増ス

○はがき 府内五厘 國內一錢

○別配達 東府府内八文
朱引外トモ六

錢 大坂京都 四錢 府内外六
局有地

三錢 一等以下郵
便局有之地

一郵便局無之地へ差

出ス郵便物ハ封ニ

付一錢ノ増税ヲ拂フ

ベシ

一書状ヲ差出ス方ニテ

郵便切手ヲ張ラサル

時ハ届先ニテ二倍ヲ

拂フ可シ

一大切ノ郵便物定税

ハムヨ月一

山付何率 出籠札 申下
源一 上東下 度止 儀奉
形 止 止

何々 何々 何々 何々 何々 何々

何々 何々 何々 何々 何々 何々

何々 何々 何々 何々 何々 何々

何々 何々 何々 何々 何々 何々

何々 何々 何々 何々 何々 何々

二 宅地 何々

一私所有 宅地 何々 何々 何々 何々

一宅地 何々 何々 何々 何々 何々 何々

一宅地 何々 何々 何々 何々 何々 何々

一宅地 何々 何々 何々 何々 何々 何々

一宅地 何々 何々 何々 何々 何々 何々

一宅地 何々 何々 何々 何々 何々 何々

外封ニキ六錢ツ
ノ手数料ヲ切手ニテ
張り未ニテ書留ト記
シ郵便局へ渡シ請取
ヲ取ルベシ之ヲ書留去
一 至急用ノトキハ未ニテ
別配達ト記シ定税ノ
外上ニ記ス別配達ノ
料ヲ切手ニテ張ル可
シ尤モ書留ヲナシス

証トシテ受取渡スベシ
故ニ差出ス者ハ必ず封
目へ三ツ以上ノ印ヲ押
スベシ
一 郵便局無之地へ差
出ス時ハ別ニ三錢ノ配
達料ヲ拂フベシ
○ 郵便爲替稅表ノ畧
里程ノ遠近ニ拘ハラズ五
圓迄ハ五錢拾円迄ハ
ムム日月ノ目

年何右内何由通何由

何_(印)誰

前通和書母_(印)付與書

右通_(印)内長

何_(印)果

何縣長良書版

○ 相地家

一私所有_(印)内_(印)書何由通何

小通何村何地百口何官與
行何百何也_(印)夫彼不
易今更改作自的_(印)善且
城本_(印)味_(印)是_(印)先_(印)公_(印)納
方法_(印)教_(印)在_(印)何_(印)官_(印)何_(印)
平自_(印)今_(印)相_(印)地_(印)何_(印)引_(印)至_(印)平_(印)
步_(印)及_(印)以_(印)何_(印)何_(印)何_(印)中_(印)上_(印)何_(印)

公年 正月 五 日

八錢二十圓迄八十二錢
○書札認メ方心得

此間 一筆啓上仕候、
此間 恐惶謹言
此間 月日 何某
何誰様

○恐惶謹言ハ成ル火ケ

書何方遠何柵何雲

何之誰 印

あふら通おきき... 何之誰 印

何殿長古其殿

④ 荷積小車 棧下出敷

一私候七取荷積小車所付仕

候旨取捨下集下取仕候

古新良也

書何方遠何柵何雲

何之誰 印

あふら通... 何之誰 印

右遠戸出

何之誰 印

何殿長古其殿

⑤ 板小車 棧下出敷

文 上ニ上ゲテ書クベシ

○月日ハ本文ヨリ半

字下ゲテ書ク可シ

○書判ハ月日ノ真下

ニ書クベシ但シ書判ナ

キトキハ姓名ヲ月日

ノ真下ニ書クナリ

○圖ノ如ク三所アスラ

三方三六ノ規ト正

シキ書状ニハ此規則ニ

公家相文書

從^{シカバ}可^{モト}シ尤^モ三寸六分
ノ半^{ハシ}分一寸八分ヲ^モ用^ユ
何^{イッ}レトモ三^ミ所^ト八^{ハチ}同^{ドウ}シク明^{メイ}
ケテ認^シムベシ
○連^{レン}署^{シヨ}認^ニメ方^{カタ}の心^{ココロ}得^{トク}
○左^サニアル圖^ズノ如^{ゴト}ク先^マノ
名^ナハ口^ク程^{チヨウ}上^ウナリ此^{コノ}方^{カタ}
ノ名^ナヲ並^{ナラ}ベ書^カク時^{トキ}ハ
口^ク程^{チヨウ}下^カナリ又^{マタ}月^{ツキ}日^ヒハ此^{コノ}
方^{カタ}連^{レン}名^ナノ真^{マコト}中^{ナカ}ニ書^カク

一私^シ機^キ今^{イマ}般^{パン}板^{ばん}小^{せう}車^{しや}ヲ^シ用^ユシ
仕^シ度^{タク}山^{さん}付^つ出^し檢^{けん}印^{いん}兼^あニ連^{レン}繼^{けい}札^さ
車^{しや}中^{ちゆう}後^ご車^{しや}ノ^シ度^{タク}車^{しや}形^{がた}也^{なり}
兼^あニ何^{ナニ}方^{カタ}通^{トウ}何^{ナニ}處^{トコロ}何^{ナニ}柵^{サク}何^{ナニ}欄^{ラン}等^{トウ}凡^{ソレ}トモ
手^テ書^カ自^ラヨ
何^{ナニ}之^ノ誰^{タリ}印^{いん}
兼^あニ何^{ナニ}方^{カタ}通^{トウ}何^{ナニ}處^{トコロ}何^{ナニ}柵^{サク}何^{ナニ}欄^{ラン}等^{トウ}凡^{ソレ}トモ
手^テ書^カ自^ラヨ
何^{ナニ}之^ノ誰^{タリ}印^{いん}

物ニ限ル

一總^{ソウ}テ上^{ジョウ}木^{ボク}ノ書^{シヨ}物^{モノ}印^{イン}刷^{シヤ}
シタル真^{マコト}段^{ダン}書^{シヨ}或^{イハ}ハ四^シ文^{ブン}
寫^{シヤ}真^{マコト}繪^エ又^{マタ}本^{ホン}業^{ギョウ}商^{シヤウ}品^{ヒン}
見^ミ本^{ホン}等^{トウ}同^{ドウ}業^{ギョウ}へ送^{オウ}ル
分^{ブン}開^{カイ}封^{フウ}ナレバ上^{ウヘ}ニ記^キス
ル割^{ワリ}合^{アヒ}ニテ輸^ユ送^{ソウ}ス馬^{ウマ}
真^{マコト}紙^{カミ}取^{トリ}ニ限^{カキ}ル且^カ一^{イツ}箇^{カウ}
ノ目^メ方^{カタ}二^ニ百^{ヒャク}目^メヲ限^{カキ}ル
○金^{キン}子^シ入^{イリ}書^{シヨ}状^{ジョウ}ノ畧^{リョウ}

何^{ナニ}處^{トコロ}長^{チヤウ}官^{クワン}甘^{カン}某^{ケイ}殿^{テン}

六^{ロク}人^{ニン}力^{リキ}車^{シャ}出^シ檢^{けん}印^{いん}出^シ願^{ガン}
一^{イツ}人^{ニン}乘^セ人^{ニン}力^{リキ}車^{シャ}一^{イツ}輛^{リヤウ}

右^{ミダリ}ノ私^シ今^{イマ}般^{パン}新^{シン}規^キ存^{ゾン}持^チ付^ツ候^{コウ}
山^{さん}付^つ出^し檢^{けん}印^{いん}兼^あニ連^{レン}繼^{けい}札^さ
車^{しや}中^{ちゆう}後^ご車^{しや}ノ^シ度^{タク}車^{しや}形^{がた}也^{なり}
兼^あニ何^{ナニ}方^{カタ}通^{トウ}何^{ナニ}處^{トコロ}何^{ナニ}柵^{サク}何^{ナニ}欄^{ラン}等^{トウ}凡^{ソレ}トモ
手^テ書^カ自^ラヨ
何^{ナニ}之^ノ誰^{タリ}印^{いん}

格上格中格下格等ノ字

ハ真行草ニヨツテ市

下ノ區別ヲ立ル習慣

ナリ又殿極上殿上殿

上殿中等モ上ニ習ベシ

○披露状宛状等ニ口

ニ我等事ヲ書キ奥ニ

貴人ノ事ヲ書テ文字

ウツリトテ嫌フナリ貴

人主人ハ披露状ニハ

我事ハ書ヌモノナリ

○病氣見舞状等ニハ

何レノ行數ニモ四ノ字

カスリ字必ラズカクベカ

ラス同ジク又煩ノ様子

或ハ痛癩惡敷耽トモ

無之バ墨ウスク書ク

ベシ又病人ノ名或ハ

平愈等ハ墨濃クカ

クナリ

必用文章

何程に後五差中一書

沖想おと道中子教と出渡

可常のは股車教と也

府 何處何處何所何處

何条某 (印)

何地郵便為換係

中

届書類

府縣ノ届書ハ前昇五行アケル
ベシ戸長宛ハ前昇アケルニ不及

⑦ 松石物沖届

茅何大區何小區何町何番地

何之誰

一私係何業...の山系支那

午...何...月...何

橋通何町字何の通中一處

五...松石...系...

○火事見舞狀又八海

狀等ハ 衛々 返々

重而又 將又 近

々々 切々 屢々 且

又 等ノ字ハ心口ヲ

用ヒテ書ベカラズ

○悔狀ニハ(何)様由

儀永(何)様由

ト直ニ書キ始ムベシ

一紙入 壹個

内 壹何拾月

内 貳國紙幣

半圓券

貳拾圓

銀貨

一全五拾圓 証又

内 貳拾月 何様

十五圓 右同

拾五圓 甲何様

右通拾月

右何様

何府長官

何府長官

八 落失物

何様

何之

筆啓上等ノ前置キ

ノ語其外余分ノ文言

ハ書クベカラズ

○開字開畫ノ事

○一字二字二行明ケ

テ書クフ開字ト云ヒ

文字ノ内一筆ハブク

フ開畫ト云フ

此度天子之思食

被仰出

又被思召 被 召出

被 仰付

被 成下

等ハ通例ノ文ニモ闕

字ヲ用ルモノ多シ亦

仁ノ字ヲ仁統ノ字ヲ

紗ト書クノ類ハ闕

書ト云ヒ 天子ノ

御諱ノ字ハ必ラズ闕

畫シタルモノナレドモ

御一新後ハ不及其儀

様被御出タルニ付今

ハ闕畫ニ不及候

○進物到来物數々

○進物等ホカヘ遣ハ

ス時書状ノウチ物數

等書ク時ハ鯛一鮭一

雉子 此ノ如ク書ク

ベシ返事ノトキハ鯛

一鮭一尺雉子ニ此ノ

一私儀何業ニ在ル也

午家貴公財用向々何橋

通何丁自出此城山帰路同所

白何町通出一年中

落天竺寺在

一月多敷包 三箇

但一箇何所 何經

印形壹個但 福

右通落生住亦義也

是下は御届申上候也

年々月々 右 何々 印

何府 長官某殿

九 寄留人偏例

何府 中何大連何小連何村何地

公私日用文章

如ク書クナリ一折ト

書時ハ教ヲ書ズ目錄

アルキハ目錄ノ通り

ト書クベシ一折ト云フベシ

○口上書ノ事

○口上 口演、口述

口達

但シ口上ノ覺ト書ハ

使者述ベキ事長ケレ

バ自分書テ持恭ノ時

カ総テ自身直チニツタ

ス書ツケ、ノトキ書ク

事ナリ、此ノ時以上ハ

書ズ上包ハ折カケ也

○尺牘式之事

一漢語ノ書翰ヲ綴ル

二十八ノ式アリ之レ

ヲ尺牘十八式ト云フ

今此ニ編スルハ畧シ

テ十四式ト為ス

誰ニ事ハ思フ

何之誰

何年何月

右何業為修形私事書留

右何業為修形私事書留

右何業

右何業何所何事何地何人何事

何之誰

何之誰

印

何府長官某殿

⑩ 寄留替御届

何府士族 何縣農商

何之誰

何年何月

妻之誰

何年何月

長男誰

何年何月

二男誰

何年何月

弟何方色
何之誰
何之誰
寄留替

第一標書。是、先方

ノ姓名ノ下ニ付ル語

ニシテ譬ハバ何某様

或ヒハ何某先生ト書

ヲ云フ○第二傍書。

是ハ脇付ニシテ譬ハ

忝人々御中返事ハ

御報ナド、書ヲ云フ

○第三具名。我が姓

名ヲ云フ○第四啟頭

娘身是
何年何月

右私抱屋敷之書留為給也此

改御届中上由也

年月。

係此

何之推印

何府長官某殿

± 改印届

私印 嚴禁 廢減 致由有之殿

更に改印仕立留信別封印

經お添は改御届中上由也

年月。

官姓名印

又ハ係此身各

何之推印

何府長官某殿

是ヨリ文面ニシテ此

レカラ發端ノ語ナリ、

譬ヘバ一筆啓上或ハ

任事便返事ナレバ御

手紙并見仕候ト書

クフ云フナリ○

第五時令。是レハ時

々ノ氣候ノ移々スル

トニシテ譬ハバ年始

ナレバ新年ノ御慶

ナレバ新年ノ御慶

目出度申納候又四季

ハ一月ヨリ四月マデ

ノ氣候又四月ヨリ六

月六月ヨリ九月ト順

ヲ逐テ部ヲ分ツ返長

ノ部ハアレト時令ニ

ツケ加ヘル語ノミ譬

バ仰ノ通リト書クヲ

云フ○第六起居コ

レハ先方ノ容子ヲ

印鑑

印

官姓名

美濃紙
堅ハツ
切り

⑬ 盜難御届

年月日表裏に在りおたふし御

里お付(お携り)御届(お携り)御届

候(お携り)御届(お携り)御届

目録(お携り)御届(お携り)御届

問フ一ニシテ御家

内様御一統御機嫌

能或ヒハ時候御障

モ無之ト書クヲ云フ

○第七欣喜是ハ喜ブ

一ニシテ譬ハ恐惶至

極ニ奉存候ト書ク

ヲ云フ○第八自叙

是ハ我一ヲ申シ遣ル

語ニシテ譬ハ次ニ

見廻り山家何所を切破

候押外(お携り)御届(お携り)御届

候押入(お携り)御届(お携り)御届

候(お携り)御届(お携り)御届

候(お携り)御届(お携り)御届

候(お携り)御届(お携り)御届

候(お携り)御届(お携り)御届

私儀無事ニ暮シ居リ
候ト書クヲ云フナリ

○第九降心。是ハ御

案ニ下サルナド書ク

トニシテ譬ハバ下

御安心可被下候或ハ

御降心可被下候ト

書ナリ○第十事

是ハ我が思フ用事

ヲ申シヤルコトナリ

○第十一結語。是レハ

文面ノ終リニ書ク語

ニシテ譬ハバ此段申上

度又年始ナレバ右者

年始之御祝詞申上

度ナゾト書クヲ云フ

○第十二末語。是ハ

結語ノ末尾ニナル語

ニシテ譬ハバ以上或ハ

恐惶謹言ト書クヲ云

ハ

或ハ遠為物あり左ノ才
以及此作
中上

何大遠何拙何事此
何事言以何有思全核

年月。

何々印

印

○被盜品目錄

一會何百何捨園也

何園 何幣 何紙幣 何枚

新銅貨 或舊銅貨 何枚

懷中 銀時計

幸筒

大サ才法何何信又ハア
其外模標也律印認
番号あり之有在記載

羽織 何本紗

ハ何路

深色何何紋小何取信
何何認む印

帶 何織

ハ何地

右何新 何

○第十三即日。コレハ

月日ト書クト同ジタ

トハ、何月幾日第何

時ナゾト書クコト云フ

○第十四封套。コレハ

手紙或ハ状袋ヲ糊粘

シテ付著シタル所へ

書ク字ナリ、譬ハ、メ、

或ハ封、又ハ、緘、ナゾト

書ヲ云フナリ

盜賊遺留品

刀

制他のきき場をききしに

何品

何々

但し、此の書に代價は

記す

年月月。

何々印

⑬ 娘 姻 届

物品ノ稱數

モノ

○器物之部

筆 一管、一軸、一對、一箱

硯 一面、一機、一紙、一粉

一張、十帖、掛物、幅書

籍 一巻、一冊、一屏、一風

一帖、一扇、一柄、一握、一把

手拭或ハ服紗、一襦

椅子 一脚、一烟盒、一面

鞆 一足、一兩、一傘、一帽

公和日用文章

養何女區何柵何番地

平民何々

長女

當何年月

有私牌誰妻之貴女也

訂取以是修書中

年月月。

何々印

布區 長古中

子シ一一蓋蓋西洋器物

十二ノ一
ダストイフ

○帛服之部

衣キモノ一一領領一一具具一一袴袴一一腰腰

絹布ケノフ一一端端綿綿一一把把西西

洋絹布ヤウケノフ一一脚脚液液

類レイ一一樽樽魚類イサノレイ一一折折

一一頭頭鳥類トウ一一翅翅一一頭頭一一翼翼一一頭頭一一翼翼

一一聯聯獸類ジュウ一一足足一一蹄蹄一一頭頭

○筆之稱

鼠鬣ソノ管城管城

鼠鬣シユ狸毛シイ

穎兔エイ墨頭ボク

文毛ブン錐毛スイ

脫穎ダツ穎紫エイ

雲筆ウン尖頭セン

霜毫サウ毛穎モ

健兔ケン紫毫シ

秋兔シュ染翰セン

鵝毛ガ嘉竹カ

④ 出產イ御御病病

一私妻シ何時何時某某係係本月本月百百午午某某

某某何時何時男子男子出產出產何何相相稱稱

与相稱与相稱一一付付以以假假出產出產何何也也

某何時某何時何所何所何者何者也也

年月年月何何之之種種印印

本本區區戶長戶長中中

⑤ 死亡シ御御病病

某何時某何時何所何所何者何者也也

何何某某

當何十年當何十年何月何月

有有病病者者出處出處甚生甚生不相不相計計

布布之之前前者者何時何時以以死死去去也也何何別別

我我之之區區何何容容辭辭者者相相副副出出假假

御御病病何何也也

織毫 鼠尾

兔羊 奴素

以上筆ト云フニ全シ

○墨之稱

松腴 玄香

玄雲 漚池

蛾綠 墨松

寶墨 松心

龍香 墨龍

青松 麝松

右

何某 印

何某 印

何某 印

本區 戶長

旅行 御届

兼何大區何遠何所何某

何某

一私儀高用付布。何縣

下何國何村。越度。何

往道何十。百他。何

空佃仕如

何之 印

本區 戶長

○ 帰 家 店 印

麝射煤 松煤

玄泉 松花

光煤 竈煤

松煙 油龍

泥陳 玄芝

加皮 烏丸

烟氷 玄竈

以上墨ト云フニ全シ

○紙之稱

蠟紙 楮先生

方潔	藤皮	竹帛	藤角	溪藤	玉板	白麻	黃麻	魚紙	楮葉	楮兒	霜楮	素雲	玉飯	金花	牋薛	牋尺	寸皮	以上紙ト云フニ全シ
----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	-----------

右私儀本手何月何日何縣

何々雅

下何日何村出往道何下何會

羅越山處布帰坂仕中

は股脚届仕也

手先月右何々雅

(印)

布

戸

○硯之稱

紫石	紫潭	端溪	龜首	墨池	童池	文房	墨靄	石端	研鵲	碧池	金曾	池銀	玉他	銅石	尾海	魯石	鳩眼
----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----

⑦ 出稼濟届

茅何大遠何道何村何書地

何々雅

右私儀本手何月何日何縣

下何日何村出往道何下何會

羅越山處布帰坂仕中

は股脚届仕也

手先月右何々雅

十七

風味 墨洞

戸庭 墨淵

精石 陳玄

以上硯ト云フニ全ジ

○扇之稱

雪雀 雉尾

九華 白羽

輕丸 輕筵

便面 白團

團翼 比翼

輕蔓 氷紉

蒲荷 鵲翅

鸞尾 回風

招涼 輕夢

素紉 團霜

白寄 代筒

以上扇ト云フニ全ジ

○机之稱

竹奴 青奴

鳥皮 青玉案

右何々印

何々印

布色 長中

轉居御届

茅何大遠何遠何町何峯地

何々印

右之般何大遠何遠何町何

中島地何轉居御届何町何峯地

度正何遠何町何峯地

右何々印

何々印

何々印

布色 長中

請書類

大 牛馬物何受領書

公和日用文章

以上机ト云フニ全ジ

○屏風之稱

瑠璃屏 雲母屏

金鵝屏 虹霓屏

以上屏風ノ一

○琴之稱

桐孫 桐君

響泉 素桐

雲和 四泉

桐系 焦尾

清客 別鶴

鳳鳴 綠綺

以上琴ト云フニ全ジ

○酒之稱

青州 督郵

歡伯 碧香

雲泉 竹光

竹葉 狂米

缸面 臘味

浮蛆 春蟻

公和日用文章

記

一 金何自何拾何園 或八半円格帯

封書 何品 何程

紙包 吉園

紗包 吉園

紙包 吉園

菘包 吉園

右心之種取也

年月。 何之雅 (印)

何系其後

丸 物價受領書

記

一 金何園何拾何何何

何品若干代

右書上代價正之種取也

年月。 何之雅 (印)

碧友	鶴黄	村白	夜黄	香泉	松膠	荷屠	温清	麴生	黄醅
紅明	下若	紫霞	宜春	濁賢	箬村	嬌碧	桑落	濁醪	燕雲

何々書版

① 呂狀結書

御用信有吹集。午前書十

時礼膝着用某。院省使。或六府。庭寮。

一出致可仕古法紙面。趣書。

敬の承ひ已之

年月日 何々惟 印

真一 舜泉

紅友 魯薄

香馬 瑞雀

掃愁 酌杏

郎官 清重

聖徒 事醇

宦醜 紅霞

香斟 魯雲

既醉 酉水

以上酒ト云フニ全シ

某 院省使

某 縣府 出中

① 拜命 結書

某儀

被任某 院省使 某友 又 某補

何等出仕 禮多 結書 以上

年月日

何々惟 印

茶之稱

龍團	鳳團	雲芽	玄壁	綠花	官焙	金花	北焙	蟹眼	春霞	佳茗	龍宇	茗花	白茅	紫荀	團月	以上茶トイフニ全シ
----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	-----------

長官某殿

① 台課清書

某儀

弟何局弟何課出仕
 庶務 租稅 課出仕
 仰付謹
 御信仕
 年月日
 何官
 姓名 (印)

長官某殿

諸證文類

諸券印紙稅則要畧

○諸証書 第一類

一賣品並ニ職業ノ

受取書

金高十圓以上ハ一錢

印紙十圓以下ハ印紙

限紙ニ及バズ

一預金証文

一耕地小作証文

一遺金証文

② 金銀借用之條

一金何百何拾圓也

右金要用付借用致山受立書

也此金約定通里來何

自集。元利取探母相違區隔

金高十圓以上八一錢

印稅十圓以下八圓紙

ヲ用ユ可シ

一貨物預り書

金高十圓以上八一錢

印稅十圓以下八圓紙

界紙ニ及バズ

一諸會社株手形

一荷物送り狀

一荷物預り証書

一貸物預り書

一諸會社株手形

一荷物送り狀

年 月 日

借主 何之誰 (印)

借人 何之誰 (印)

何某處

一住所讓與証書

一物品讓與証書

一公債証書類讓與

証書

一跡式讓狀

金高ニ拘ハラズ總テ

一錢ノ印稅

○諸証書 第二類

一借用金證文

一預り金 証文 手形

廿二 年 賦 金 確 證

一人金何百圓也 但し母利是

お生母撥入用付借目も受

任意也然し區隔借手

約定を通 賦相控布月

あり 其年 金何百圓 年賦ナレバ

何月まで 日限母連相渡等

- 但シ使用ヲ為サレノ
明分無之分
- 一 地所並ニ建家賣
渡証文
- 一 地所並ニ建家賣
入証文
- 一 公債証書類賣買
証文
- 一 諸品賣入証文
- 一 為換手形並ニ置
手形

第一番と度も本藩に
 人等抱持する事御
 通利三印加し諸人
 公元利耐
 只度小為得証候
 年月。

借入 何之儀 (印)
 借入 何之儀 (印)

- 一 荷物為換手形
- 一 諸請負証文
- 一 金銭約定為取換
証文
- 一 米穀並ニ諸品賣買
約定証文
- 一 米借用証文
- 一 雜穀借用証文
- 一 賣買用諸品
借用証文

何某取
 借入 借状事
 一此准らる者生國
 健康者付系諸人
 度候屋借文
 亦貸年
 作事

一借地証文

一借家証文

一金十圓以上記載

雇人請状

一諸賣買証據金預

リ手形

一諸敷金証文

金 高十円

右米 高五石

雜穀 高十石

未滿
紙 界

洋出の諸人等も亦御勤定

に及ばず日毎の出入も亦御勤定

に及ばず日毎の出入も亦御勤定

に及ばず日毎の出入も亦御勤定

に及ばず日毎の出入も亦御勤定

に及ばず日毎の出入も亦御勤定

に及ばず日毎の出入も亦御勤定

賣女取扱主他諸君も亦御勤定

に及ばず日毎の出入も亦御勤定

に及ばず日毎の出入も亦御勤定

に及ばず日毎の出入も亦御勤定

に及ばず日毎の出入も亦御勤定

に及ばず日毎の出入も亦御勤定

に及ばず日毎の出入も亦御勤定

金 高廿円

全米 高十石

雜穀 高廿石

右以上何レモ金八十

圓米ハ五石雜穀ハ

十石毎二一錢ツ、ヲ

増加スベシ

○諸証書 第三類

一諸酒切手

外目一外未滿ハ界

紙ニ及バズ

に及ばず日毎の出入も亦御勤定

同壹斗以上	印稅一錢
一斗未滿ハ	
同壹斗以上	同 二錢
二斗未滿ハ	
同二斗以上	同 三錢
三斗未滿ハ	
右以上幾許ノ高二至	
ル氏總テ之ニ準ジ印	
稅增加致スベシ	
一食類切手	
代金高廿五錢未滿ハ	
界紙ニ及バズ	
月廿五錢以上	印稅一錢
二百五錢未滿ハ	

年号月

家信印

何人何種印

何集度

借入金請紙

一人何檢圖也

右今般我所持牙何夫運何
由運何所何事地之何借也

同百五錢以上	同 二錢
五斗未滿ハ	
同五斗以上	同 三錢
十斗未滿ハ	
右以上幾許ノ高二至	
ルトモ總テ之ニ準ジ	
印稅增加致スベシ	
一米油醬油其外諸品	
賣買切手	
代金高廿五錢未滿ハ	
界紙ニ及バズ	
金廿五錢以上	印稅一錢
五斗未滿ハ	

其行應使便 必付有附

物為數者其面重高正取

其知者其如 其其其

許部今寄轉其後其

其附物換料とて 其其其

其何劑其其 其其其

其價一斗其為其其其

金五円以上 同 二銭

十円未満 同 三銭

廿円未満 同 三銭

右以上幾許ノ高二至

ルトモ總テ之ニ準シ

印税ヲ増加致スベシ

一 荷物受取書

右ノ受取書ハ送り状

附添ハザル分ハ界紙

ニ及バズ送り状附添

ノ分ハ界紙ヲ用ル歟

年月日

青何大區伊中區何所何高地

何之雅

印

何其處

荷物為替手形

共 金銀為換之證

一 金何千圓也

右ノ先般積多クハ何品也

又ハ印紙貼用ノ荷物

判取帳ニ記スベシ

一 金高記載無之

○ 約定 証書類

○ 雇人 請狀 類

右ノ證書類ハ總テ界

紙ヲ用フベシ

○ 諸帳簿 第一類

一 金銭判取帳

一 貨物通帳

一 金銭當座預通帳

干之代之内書面ニシテ

考據何之雅屬ニ為換之取

担ノ条亦凡何自何之雅

亦由何之由渡之山也

年月日

何之雅

何之雅 印

何之其處

附込見積高百圓未

滿ハ印紙界紙ニ及バ

ズ百圓以上八百圓未

ニ印税一錢ヅ、ヲ増

シ用エ

○諸帳簿 第二類

一貨物臺帳

一金錢一時貸通帳

一諸品損料通帳

一商賣品當座借通帳

乳母奉公請証

其 受物事

一私事誰係去々梅亭ノ付
乗持人ノおまき事ケノ取金何
圓ノ定め事思今金何程也
渡中乳母雇差知ノ事
確実知 然事ノ事ノ事

一金錢預リ通帳

附込見込高百圓未

滿ハ印紙界紙ニ及バ

ズ百圓以上二百圓未

滿ハ印税五錢

二百圓以上八百圓未

トニ印税五錢ヅ、ヲ

増スベシ

○諸帳簿 第三類

一諸帳簿 第三類

書取方切致事ノ事
為心得事ノ事且是程
お願ノ事お病元々
乳汁致不足ノ事代人
事ノ事知事者付何
横ノ事出事ノ事
更持事ノ事好証件

一 荷物判取帳

一 諸品判取帳

附込箇數ニ拘ハラズ

一ヶ年ニ付印税二十

錢

印紙界紙ヲ用ヒル書類

○官印或ハ官吏ノ公

務ニ依リ調印セル受

取書証書類租税賦

金區入費ノ區戸長ヨ

任不區名册書号

誰人何之誰 (印)

日 金 何之誰 (印)

何之業啟

○ 雇人賃状之事

何之遠何之近何之親何之疏
身之變甥兄弟姊妹

何之誰
由何年何月

リ受取書

○官禄家禄賞典救助

受取書裁判受書訴訟

濟口証文

印紙貼用會意

○外國貨幣ハ内國通

貨ニ計算シテ貼用ス

ベシ

○公債証書ハ賣買高

ノ金高

右ノ者家等誰人ニ相違由

何之何之何年何月何日

何之何之何程何程何程

何之何之何之何之何之

何之何之何之何之何之

何之何之何之何之何之

何之何之何之何之何之

何之何之何之何之何之

○官、拜借金衆庶一

般ニ非ザルハ規則通

リ貼用スベシ

印紙區別早見

印紙種類 印紙定價

淡黒色 一錢

薄赭色 五錢

青色 十錢

黄色 廿五錢

橙黄色 五十錢

紅色 一圓

深紫色 五圓

深紅色 廿圓

印紙賞罰則大畧

証券紙ノ用ニキニ用ヒ

ザル者脱税高ノ 二十倍

其証書ヲ没スル者ハ 十倍

第一第二第三類ノ証書ニ

印紙ヲ貼用セザル者脱税

高ノ 二十倍

シム

了る日且期限内中事務

有るは解る事ハ或る

今も此限中務ハ自

数に座一は路を運送る

了る下尤初作中事務

身上付何事ハ事件

差違の事悉皆承知

信託事務ハ或る掛

事ハ亦ハ為及證ハ礼如件

年号月日

何之誰

何条其處

委任状

拙者係何事ハ付左

其証書ヲ受取名者十倍

第一第二類帳簿ニ印紙ヲ

貼用セラル者ハ脱税高ノ十倍

第三類ノ帳簿ニ印紙貼

用セラル者ハ脱税高ノ六倍

証書帳簿ニ印紙ヲ不足

ニ貼用スル者ハ脱税高ノ十倍

其証書ヲ受取名者五倍

規則從テ貼用セシ証書帳

簿ノ印紙ニ調印セラル者以下

其証書ヲ受取名者ハ

渡主ノ 半高

印紙ヲ貼用セラル者ハ

不足ナル者ハ貼用ノ印紙

ニ調印セラル者ハ紙ノ可

用ニ用ヒラル証書ハ証人ニ

相立又ハ奥書等致ス者ハ

二十五円以下

印紙貼用可致シテ全ク貼用

無之請帳簿ニ調印スル者

權限表 總代理 委託

於此 權限内 事項

度 委託 代理

何 權限 委託 代理

何 權限 委託 代理

何 權限 委託 代理

何 權限 委託 代理

三

願届書袋表雛形

何々御 届伺願

第何大區何小區何 何之誰

何々至急御届

公私日用文章 終

ハ其人毎帳簿主ヨリ取亮

過料高ノ百分一ツ、印紙角

ズキニ紙紙ヲ用之者ハ減

稅高ノ 十倍

其證書ヲ受取ル者五

印紙ノ規則ヲ犯ス人ヲ

訴ヘ出テ相違無キニ於

テハ過料金ノ半高ヲ

下サル

公私日用文章頭書 尾

明治十二年三月三日出版御届
五月刻成

著者 大阪府平民
長谷川玄龍
大阪府下東区北桃谷町
七番地住

出版人 大阪府平民
梅原龜七
大阪府下東区備後町
四丁目十一番地

明治十二年八月一日合本御届
同 八月出版

編輯人

大阪府平民
長谷川玄龍
府下東区北桃谷町
七番地住

出版人

大阪府平民
梅原龜七
府下東区備後町四丁目
十一番地

大阪

中川 勘助

前川 源七郎

柳原 喜兵衛

森本 太助

塩冶 芳兵衛

岡島 真七

書林

Blank header area



Blank footer area